

**2018 J2** ■順位表 ■第15節終了  
勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	大分	31p	+12	29	17	A●
2	山口	28p	+6	29	23	
3	町田	26p	+9	27	18	
4	福岡	26p	+7	23	16	A●
5	岡山	25p	+5	15	10	A△
6	松本	24p	+7	21	14	HO
7	横浜FC	24p	+1	20	19	H●
8	甲府	21p	+6	19	13	H●
9	新潟	21p	+1	17	16	
10	徳島	21p	0	12	12	H△
11	栃木	20p	-4	17	21	H△
12	熊本	20p	-6	22	28	AO
13	岐阜	19p	+1	18	17	---
14	金沢	19p	-1	17	18	H●
15	東京V	18p	+2	16	14	A△
16	水戸	18p	0	16	16	
17	大宮	18p	-2	18	20	AO
18	千葉	18p	-4	24	28	AO
19	山形	17p	-2	15	17	
20	京都	12p	-9	13	22	A●
21	愛媛	10p	-15	9	22	AO
22	讃岐	10p	-16	10	26	

**次回HomeGame**

第17節 vs. 水戸ホーリーホック  
6/2(土) 15:00  
@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場

**大酒場 ホームラン**  
名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)  
年中無休 午後3時から営業  
TEL.058-263-5201

**Living in Woods**  
本庄工業株式会社  
http://www.honjo-woodream.com/

**湯麺 戸塚**  
店主：戸塚 哲也  
瑞穂市穂積 1596-4  
11:30~14:00/18:00~21:00(L.O.20:50)  
お休み情報 twitter: @Tanmen\_Tozuka  
☆☆☆各務原店もよろしく!!☆☆☆

today's guest : **アルビレックス新潟**

2017 J1 7勝7分20敗 勝ち点28:17位

直近の対決と結果

初顔合わせ

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	アルビレックス新潟
2018/05/19 J2-15節@NACK 大宮 0-2 岐阜	2018/05/20 J2-15節@デンカS 新潟 0-0 山形
2018/05/13 J2-14節@大銀ド 大分 2-1 岐阜	2018/05/12 J2-14節@フクアリ 千葉 1-2 新潟
2018/05/06 J2-13節@長良川 岐阜 2-0 松本	2018/05/06 J2-13節@デンカS 新潟 1-2 大分

**アルビレックス新潟:**

1955(昭和30)年創設の「新潟イレブン」が母体。2002年・日韓ワールドカップの開催に新潟県が立候補することから、新潟イレブンを強化してJ加盟を目指すこととなる。1995年に「アルビレオ(白鳥座にある二重星の名前)新潟」と改称も、商標問題から2年後に「アルビレックス新潟」と再び改称。2003年にJ2で優勝し翌年からJ1。以後、14年にわたりJ1の座を守り続けた。海外(シンガポールなど)でもサッカークラブを運営しており、また、運営会社の資本関係はないが、バスケット(B1リーグ)・野球(独立リーグ)・アルペンスキーなど、数多くのスポーツクラブがある。

●今シーズンは12試合を経過して、いまだホーム勝利のなかったFC岐阜。しかし5/6(日)第13節・ホーム松本戦では、積極的な攻撃と献身的な守備が功を奏し、8位の松本と互角の試合を演じると、相手DFのミスを見逃さなかった#11 古橋亨梧がボールを奪って先制点。試合終了直前に#24 難波宏明の追加点で試合を制した岐阜が、2-0で今季のホーム初勝利を飾った。これで自信を深めた岐阜は、続く5/13(日)第13節・アウェイの地に乗り込んで首位・大分と対戦。前半終了直前にセットプレーから#11 古橋亨梧がヘッドで先制点を挙げたが、後半早々に同点に追いつかれてしまう。その後は一進一退の粘り強い攻防戦が続いたが、試合終了直前の大分の攻撃でゴールラインを割られて逆転され1-2。少し後味の悪い敗戦となってしまった。しかし、5/19(土)第15節・アウェイ大宮戦は、前節の試合よりもさらに激しくボールを追い、大宮に攻勢をかける。そして前半24分に、相手ゴール前での密集を抜け出した#11 古橋亨梧が3試合連続ゴールとなる先制点を決めた。後半にはセットプレーで#3 竹田忠嗣が貴重な追加点を挙げ、試合終盤の大宮の猛攻も凌いだ岐阜は無失点に抑え、2-0で勝利した。この3試合で2勝1敗の成績だったFC岐阜の順位は、下位・17位から中位・13位に上昇。J3降格圏(21位・愛媛)との勝ち点差も9にまで広げることができた。しかし、今年のJ2は、中位の争いが大混戦で、8位・甲府から18位・千葉までの11チームが、わずか勝ち点差3にひしめいているため、まだ1回の勝敗で大きく順位が上下する可能性が高い。しかし一方で、上位の勝ち点差6に5位(暫定)・岡山がいる。プレーオフ圏内争いに参加するためには、ここでの連勝が是非とも必要だ。

さて、今節の相手は、公式戦では初対戦となるアルビレックス新潟。2004年にJ1に昇格して以来、14シーズン守っていたJ1から降格し、体制を刷新した今季は1年でのJ1復帰を目指しているチームだ。そして、開幕から4戦無敗と好調な出だしを切ったが、4連敗して一時期は14位にまで順位を落としたものの、調子を取り戻して現在は9位にまで順位を上げている。その原動力となっている選手の1人が、新潟ユース出身・大卒ルーキーの#16 渡邊新太だろう。彼は直近5試合でスタメン起用されるようになったが、5試合で4得点とチームを牽引して3勝1分1敗、その1敗も首位・大分戦でのものだ。この新潟の若きエースを上回る活躍を、岐阜の若きエース・#11 古橋亨梧には4試合連続ゴールで岐阜の勝利に貢献して貰いたい。また、新潟で現在3得点の#3 安田理大は元日本代表、そのセットプレーでのキックには注意が必要だ。安田の他にも、新潟には#14 田中達也、#19 矢野貴章といった元日本代表選手や、世代別代表に選ばれた選手たちが名を連ねており、選手個人の實力は間違いなく確かなチームだ。しかし、サッカーは選手個人の技量だけで戦うスポーツではないし、ましてや代表歴で勝敗を競うスポーツでもない。そのことを、今節の勝利で証明しよう。厳しい対戦相手ではあるが、最後まで全力でひたむきにボールを追って走る岐阜の選手たちを信じて、僕らFC岐阜サポーターも、最後まで勝利を信じて全力でひたむきに拍手と声援を送ろう。そうすれば、僕らは「連勝・ホーム2連勝・昨年J1の2チームを撃破」という、ひとつの確かな手応えを掴むことができるはずだ。(ささたく)



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。休:月曜日

**投稿募集 !!**  
gidaidohri@gmail.com

## 【第13節】岐阜 2-0 松本

●試合後は、玉宮界限での祝勝会を諦め、ねぐらに戻ってカルク祝杯を挙げて寝る。そういうつもりが、TwitterのTLに歓喜が溢れかえって、その一つ一つに目を通してたら午前1時過ぎまで寝られなかったアカウントがこちらです。翌日は睡眠不足での連休明けとなりましたが、難なくとは言わないまでも、それなりに過ごすことができました。そりゃあ、ねえ。あんな勝ち方をしてくれたら……ですよ。

しかし、それにつけてもキョーゴ。見返すたびに「どーなつとんのや!?キミは!」と驚愕しきり。キックオフから縦を狙うばかりか、あのマルコメ(古!)7番(編集部注:松本の前田大然のこと)をマークして何度も走り勝ち、クリアしてピンチを防ぐ。で、そのマッチアップしてた相手が交替したってえのに、イケる!と見るや、ボールホルダーのDFにプレスかけて、ボール奪ってゴールを決める。けっこうな間合い、距離があったよ、先制した場面。そこを瞬間移動で詰めたかのようプレー、そして、シュート。狙ってましたか?それとも、ふだんの練習通り?そのうえ、アディショナルタイムのラストにも自陣でプレスかけて、そのアオリでイーブンになったボールを拾ったパウロからのパスを当たり前のように受けてたけど、味方ボールになるのを信じて、プレスかけ終わると同時に走り出してたよね?で、走り切るだけでなく、対応したDFを滑らせておいてフリーのナンちゃんにプレゼントパス……。できひんやん!フツーできひんやん、そんなん!95分だよ?しかも、相手のメガネ監督は「3連戦の3戦目で……」とか言って、向こうのマルコメくんとかを交替させてたけど、そんなん言うたら、その3戦フルタイムで出ずっぱりやよ?ウチのキョーゴは。……アカン。こんなん西野さんや、そのブレーンに見られたら代表待ったなしや。ホント、ヤバイ。どーして、ウチなんかへ来てくれたんかなあ?(苦笑)そら、武将も抱きしめに行くわさ。ということで、この試合のマン・オブ・ザ・マッチはキョーゴ。異論は認めない。ただ、ね。前半10分くらいのマルコメくんのボレーとかが決まったら……。向こうが先制してたら……。たぶん、かなりの確率で勝敗逆転してたワ。そういう意味では、ショートコーナーからのグラウンダーのシュートを防いでくれたビクトルは神!DFの4人も獅子奮迅の働きだった。よく守り切ってくれた。向こうの7番や8番の交替で入ってくるのが高崎とか永井龍とかだったから、余計にね。思い起こせばこの2人には何点取られたことか……。もういっぺん繰り返すけど、本当によく守り切ってくれた。走り切ってくれた。惜しむらくは、どーして、この半分でも金沢戦に……。(爆笑)3連勝あったよ?

いや〜、ホントに勝つていいね。しかも、それが8か月ぶりのホームでの勝利。そして、メガネ監督のインタビューが心地よい。しかし、あのインタビュアー、オニですか?相当含みあるように聞こえたんですが、どうなんでしょう?まあ、そんなことはともかく、「待っていたのは、最にして高のGWだった!」。手放しで喜べるような順位ではないけど、今夜くらいまでなら大丈夫でしょ。このまま、浮かれ気分で布団に入りますワ(笑)。(ぐん)

●GW3連戦の最後に、直近7試合無敗の松本を迎えて行われるホーム戦。しかし、今季ホーム未勝利の岐阜。とはいえ、個人的には「負けたくない対戦相手」トップにランクインしている対戦相手。昨年の「ホームユニ着替え事件」も相まって、その相場はストップ高(苦笑)。それにしても、今年もホームユニの色が似てるから、今年も屋台村で見分けがつかないですな(苦笑)。

さて、今節は#14風間宏矢がMFでスタメン。結果として、この采配が効いたのかなと僕は思っている。中盤で相手選手にプレッシャーを掛け、ボールを奪って攻撃に転じる岐阜の戦術が向上したように見えた。とはいえ、試合は松本に有利なペース。それを粘り強く跳ね返している中で、#11古橋亨

梧の走りは異彩を放っていた。GW3連戦の最後。過密日程の2試合をフル出場して走り回っているにも関わらず、今節も攻撃の中心となり、守備でも松本の#7前田大然の突進を何度も止める貢献ぶり。おいおい、いくら昨年よりパワーアップしている亨梧とはいえ、このまま走れるのか…という僕の不安を、彼は見事に吹き飛ばしてくれた。後半、マッチアップしてた#7前田が先にバテて(?)交替した直後、相手GKからDFへのフィードが甘いを見ると、一気に襲いかかってボールを奪い取り、そのまま流し込んで先制ゴール!重苦しい試合展開を吹き飛ばしてゴール裏に走ってくる姿に、歓喜の岐阜サポ。徳島戦・金沢戦ともノーゴールだったし、その喜びはひとしおだった。とはいえ、好調・松本もそのままでは終わらせてくれない。何度も危険な場面やセットプレーを与え、粘り強くシュートを跳ね返し、ゴールを守る岐阜の選手たち。しかし、その重苦しい雰囲気をもたしても吹き飛ばしたのは、またしても亨梧の快足。アディショナルタイムに、わずかな隙と見るや#7パウロのスルーパスを信じて走り出し、松本の選手を振り切ってボールを受けて独走。そのままシュートを撃つと見せかけてギアを上げておいて、追いかけたきた#24難波宏明に優しいパスで、勝負あり。そりゃナンちゃんでもなくとも「抱いてくれ」って言いたくなるわ(笑)。なお、2点目のゴールが叩き込まれた直後に、雨が目に入ったらしくて僕は光景がぼやけておりました(苦笑)。あと#6三島領平選手、J初出場おめでとう!

苦しい展開の末に、掴んだ今季ホーム初勝利。しかも昨年の9/3(日)第31節・愛媛戦以来。そして対戦相手が僕は“あのメガネ”と呼ぶ(失礼御容赦!)監督のチームにクリーンシート。降り出した雨に濡れても、実に心地よい余韻。あー、やっぱりホームで勝つって、素晴らしい。だから、もう少しホームで勝って欲しいよね。

そりゃウチは今まで下位ばかりだったから、勝利より敗戦を見ることの方が多いのは当然として、ホーム戦よりアウェイ戦の勝率が高い、“外弁慶”のシーズンが多いんじゃないかと感じるのには僕だけなのかな?やっぱりホームスタジアムを1回でも多く沸かせて欲しいのです。だから、今節もホームで勝利を!(ささたく)

●理由(わけ)あって、5/3はアルウィンで松本vs水戸を観ていた。2-0で松本が勝つただけで、その試合運びを視ていて、次の5/6の試合が不安になった。向こうの、「1トップ2シャドー」ではなく「2シャドー1トップ」とも言える攻撃、前田やセルジーニョのスペースへの飛び出しを岐阜は防げるのだろうか……と。

結論から言うと「ごめんなさい、ぼくが間違っていました」だ。中盤でキチンとプレスをかけてシャドーの2人が飛び出せないようにしたし、DFラインも飛び出してくるスペースをキチンとケアしていた。これは持久戦になる。普段の試合だったら、この持久戦はスタメンほぼ固定で臨んでいる岐阜の負け、になったかもしれない。けれどこの日はGW3連戦の最終日。岐阜と同じように松本も疲れていた。

そんな中、「スタメンほぼ固定」の中心にしながら「GW3連戦の疲れってなんのことですか」とばかりに走り続けたのが古橋。4-3-3システムの左FWなんだけど、攻められている時は左SBの前に来るスペースまでしっかり戻る。そして攻撃では1ゴール1アシスト。宮本と2人で飯田に圧力をかけて奪い取ったの先制ゴール。試合終了間際の松本の大攻勢を凌いでボールを奪ったのは古橋とパウロ。一気に古橋がボールを運んで、最後は難波に「どうぞお召し上がりください」なパス。「すげえ!すげえよ!」を超えて「どうしちゃったんだい」とまで思ってしまったよ。申し訳ない。

ここ最近の岐阜は、今季アタマまでのパスサッカーをベースにしつつ「勝ち負けが出来る」スタイルになった。パスはあくまで手段。次のフェーズに到達した、ということだ。だから、もしリードされても、いまのスタイルで行こう。金沢戦のように、フェーズ1に戻ることは、必要ない。(吉田铸造)

## 【第14節】大分2-1 岐阜

●涙雨に煙る大銀ドーム。屋根は閉じているんだけどね……。この試合を一人っきりでD A Z N観戦していてよかった。現地にいたら、たぶん、何が起こったのかわからなかった。アクティブGでのパブリック・ビューイングに参加していたら、冷静でいられたかどうかかわからなかった。ゴール・ネットが揺れない決勝点。それが、こんなにも辛く、無情なモノだとは思わなかった。この試合展開で勝ち点1も得ることが出来ないなんて、冗談でしょ？まさか、まさか？の結末。よもや、昨季に引き続き、受け入れづらいエンディングが待っているとは……。

それでも、厳しい事を言うようだけど「決めるべきところを決めていれば勝っていた」。そういうことだ。もっとも、それは相手にも言えることで、前半のアノ場面を決められていたら、もっとわかりやすく決着していたかもしれない。後半早々に追いつかれた場面。カンタンに裏を取られた場面も、厳しく言えばミスだったのかもしれない。

ただし、判定は判定。審判に委ねるしかない。動いているボールを、動きの中で、動きながら判断するのだから、異を唱えてもどうしようもない。とはいえ、ビクトルがああいう感情を露わにしたことを批判するつもりもない。その場で発散させたら、あとはもう切り替えるだけ。すぐに次の試合はやってくる。立て続けのアウェイ。それも、九州から関東という移動は厳しいけれど、今度は現地で応援する。共に闘い、必ずバンザイ四唱をやりましょう！（ぐん、）

●前節はホーム初勝利。選手たちも気持ちよくアウェイ・大銀ドームに乗り込んだこととは思うが、しかし僕には大分はあまりいい記憶がない（苦笑）。調べてみたら、大銀ドームでは未勝利だった。距離も遠いし交通の便も良くないし、そりゃいい思い出のあるはずもない（苦笑）。しかも今季の大分は現在首位。どんな試合になるのか…期待と少しの不安で僕は試合を迎えた。

ところが、だ。今節も試合序盤から、激しいプレッシャーを掛けてボールを追う岐阜の選手たち。大分が岐阜の裏を狙っているため、それを前からつぶしにかかるのは正解ではあるけれど、それにしたって体力が保つのかな…と思ってたんですが、前半終了間際に#14 風間宏矢のC Kを#11 古橋亨梧がファーから突っ込んでヘッドで押し込み、先制点！いやー、セットプレーできっちりゴールを決めたのって、これもまた僕の記憶にあまりないんですが（苦笑）。そーいや宏矢にとつて、大分は古巣だった。キックにも気合いが入ってたんだろうなあ（笑）。

ただし、前半に先制したってことは、後半に向けて相手は必ず修正してくるし、そのためにハーフタイムがある訳で。やはり首位のチームだけあって、後半開始すぐに、裏に抜け出されてダイレクトに撃たれて同点に追いつかれてしまう。その直後は、少し気持ちが落ちてしまったのかリズムが悪くなったけど、再び徐々にペースを取り戻して、何度も決定機を迎える岐阜。しかし、“たられば”というか、“あれを決めるか決めないかで今の順位がある”と言うべきか。何度かあった決定的チャンスを一回でもモノにしていたら、あんな劇的な終わり方はなかったのかもしれないと思ってしまう。アディショナルタイムには、選手たちの足が止まってしまっていた。フリーでクロスを上げられた。元岐阜の#15 清本拓己にD Fラインの裏をフリーで抜かれた。ポストに当たったボールにも、いち早く詰められていた。最後の最後まで走り抜いた方に、勝利の女神は微笑む。“それがサッカーだ”と、改めて痛感させられた試合結果になってしまった。これで、大銀ドームでの6試合は2分5敗・10得点19失点。たしか、大分がJ3に降格した15年も、2試合ともボロ負けしたんだよなあ…（溜息）。岐阜サポの、新たな“魔境”認定スタジアムかもしれない。少し後味の悪い敗戦とはいえ、首位・大分を相手に“勝ち負け”の試合ができたことは、選手たちにとって自信になるだろう。

このアディショナルタイムの反省点も糧にして、次節以降の更なる成長に繋げて欲しいものです。（ささたく）

●D A Z N観戦なんで、試合自体の感想は手短かに。よくやりました。首位を独走する「西の鬼リアリスト」を相手に、大健闘だったと思います。最後は残念な結果になってしまいましたが……。

で、ぼくがここで書きたいのは、その残念な結果について。現在、ドイツ・ブンデスリーガではビデオアシスト制度が導入されている。日本のプロ野球でのリクエスト制度（監督が要求する）ではなく、主審がオーダーするもの。オフサイドがあったか、ボールはラインを割っていたか。さらには、オフサイドポジションにはいるがボールに直接関与していない選手が相手G Kの視野を狭めてはいないか。さて、Jリーグでこの制度が導入されていたら、どうなっていただろう。おそらく、この大分戦のあのシーンで主審はビデオアシストをオーダーし、その結果「ボールはラインを割っていない、ノーゴール」という判定になった可能性は低い。

でも、それがなんだというのだろう。Jリーグではビデオアシスト制度はない。主審（副審も）は、動いているボールを、動きながら（だから視る位置は毎回異なる）、時を戻すことなく、その場で判定を下す。それが仕事。視聴者は残酷だ。D A Z Nの固定カメラの映像を、時を戻し、何度も細かく動かしながら、ボールが一番ゴールの中に入った瞬間を見つけ出し、「ほら！ボールはラインを越えていないじゃないか！主審、許せねえ！」と怒り出す。そこまでは個人の行動だから好きにしていと思うけれど、さらには、その画像を切り取って「なんでこれがゴールなんだ！サイテーなく●審判！」とSNSなどに広めて糾弾し、怒りを発散させるケースも見受けられる。なんか、アンフェアなことしてるなあ、と思いませんか。（吉田鑄造）

## 【第15節】大宮0-2 岐阜

●静まり返るナクスタで高らかに響き渡る凱歌。3年前のナクスタにも参戦した者の一人として、Jリーグを愛する皆さまにお伝えしたいのは「控えめに申し上げて、今季最高の試合でした！」という事実。相手の大宮さんにとっては災難だったと思います。とはいえ、ウチのキーマンであるキョーゴに対峙した20番。たしか、福岡にいた時にも対戦したこともありましたが、彼はS Bだったんですね。記憶の中では前目の位置でプレーしてたように記憶してたんで調べてみたら、F WもM Fも経験してました。ポリバレンタじゃないですか。大宮でもS Bで出場してたようですが、それもここ最近の3試合くらい。申し訳ないが、そのような付け焼刃？でキョーゴが止められるワケがない。ナメてもらっては困ります。ウチもJ2も、以前とは違うのですよ、以前とはね。しかし、歓喜も翌日まで。何しろ、大宮さんには、あと8点も借りがありません（苦笑）長良川でも勝ち点3の回収は当然として、一点でも多く得点して、そのうえでこの日のように完封して、15年シーズンの雪辱をさせていただきたい。あ、加入後初ゴール、おめでとうございます！竹田さん。それが、クラブのJリーグ450点目とは。前半終了間際の好機逸失を、後半開始早々に取り戻すところがステキすぎる。ありがとうございました！さて、この試合で特筆しておきたいことがひとつ。“Victor es mejor que Casillas y De Gea”。土曜の大宮戦で、ウチの応援をリードしてる螻が出した一発ダンマク。直訳すると「ビクトルは、カシージャスとデヘアより優れている」となるらしい（編集部注：カシージャスもデヘアも、ビクトルの出身国・スペインを代表する名G K）。もちろん、コレはウチノ守護神へのメッセージ。大分戦が終わった直後のピッチ上で激しく感情を露わにし、翌日にその反省と謝罪をツイートしてたビクトル。そんな彼を激励するために、リーダーを始めとする螻が考え、大宮到着と同時に日暮里まで布を買いに行くメンバーと、通訳の方にスペイン語訳を調べるメンバーに分かれて準

備。完成させた後には、何が書いてあるのか？を大宮の運営担当さんにも説明して了解を得る。そして、GKがピッチ内練習に姿を現わすのと同時に数名が手持ちでフェンス前に掲示。ソレにスグ気づいたビクトルの顔といたら……。さも嬉しそうに、サブの原田に何かをささやき、コーチの川原さんにも声をかけてた。さらに、ボールを触る前のランニング中のニヤケ顔といたら……。笑)よかった。ちゃんと伝わったよ。届けたかったのは「誰が何と言おうと、オレ達の一番はキミだよ！」ということ。「ビクトルが最高っ！」ソレが伝えたかった。ソレが伝わった。素晴らしいダンマクだった。コレも勝利の一因だった。少なくとも、ボクはそう思ってる。ホントにグッジョブだったよ。そんなエピソードも含めて、今季最高の試合に立ち会えたことがとてもウレシイ……。でも、最高の試合は、どんどん更新してってくれるよね？今日も共に闘いましょう！（ぐん）

●少し残念な試合結果となってしまったアウェイ大分戦で、調子を落としてしまうのか、それとも自信に変えるのか。そこが注目点というか不安点というか、14位とはいえ昨年J1クラブ、今季も大分に勝利している大宮を相手に、どこまで……と思ってたんですが、少なくともこの試合結果を見る限り、岐阜の選手たちは自信に変えてくれたようです（笑）。試合の立ち上がりから、前節・大分戦で見せた、前線からの激しいプレスを堅持して、セカンドボールを奪う岐阜の選手たち。面白いぐらいにリズムよく好守の切り替えがハマる展開。そんな中、大宮のゴール前…と言うか、ほぼPA内での密集地帯でパス回しをすると、#10ライザの技ありヒールパスに反応した#11古橋亨梧が抜け出して3試合連続となる先制ゴール！素晴らし過ぎて、そのゴールを喜ぶよりも、彼の来季の契約が気になりだしてしまったのは僕だけなのでしょうか（苦笑）。

その後も大宮を圧倒した前半。前半終了の笛と共に大宮サポからブーイングが。そりゃまあ、シュート本数が岐阜の11本に比して1本、枠内がゼロだってんだから、言いたくもなりませんよね…。ただ、前半終了間際の#23小野悠斗のFKで、#3竹田忠嗣は相手GKが弾いたボールを押し込むだけだったのに、どフリー過ぎて焦ったのか追加点を奪えなかったのが、僕は気になっていた。当然、相手も修正してくるし、前節の大分戦でも、ああいう所で追加点を決めるか決められないかで勝敗が分かれる…しかし、今回の結果は前回とは異なっていた。後半すぐのFK。再び#23小野が蹴ったボールを、#3竹田が今度はヘッドで決めて、ミス帳消し(?)の追加点！そして今季&岐阜での初ゴールおめでとう！

その後、流石に大宮も修正を図って攻撃を活性化させ、何度か危ないシーンも見られたけれど、何とか守りきって、2-0。16年シーズンには、2試合とも0-5で大敗した大宮を相手に、クリーンシート・完勝で勝てる日が、こんなに早くやってくるなんて（歓喜）。

…と、(今のところ)個人的今季ベストゲームにノミネート入りした試合だったのですが、カード3枚は多すぎるのと、最後バタバタしてしまったのは今後の課題にして欲しいと思います。また、スタメンは戦術が浸透しつつあることが感じられる一方で、交替で投入される選手との差を埋めることが、これからのシーズンを戦い抜く上では重要なことになるでしょう。まあ大木監督が“塩対応”だったのは、“勝って兜の緒を締めよ”というメッセージなのかな…と、少し苦言を呈しましたが、ニヨニヨが止まりません（笑）。

(ささたく)

## 【ユース】プリンスの壁は厚い…

●我らがFC岐阜ユースU-18（以下FC岐阜ユース）は今年から東海プリンスリーグに参戦しています。少し前になりましたが、5月5日には笠松町の岐阜フットボールセンター（以下GFC）にて第5節帝京大可児高との岐阜県のチーム同士の対戦が有りましたが、この試合も0対3で敗戦となり、これまで0勝5敗、得失点差で10チーム中最下位。なかなか厳しい結果となっています。尚、プリンスリーグは高校総体の県予選や日本クラブユースサッカー選手権の東海地区大会の為に休みになっており、次の第6節は6月23日に開催予定となっています。

そして日本クラブユースサッカー選手権東海大会について。これまではFC岐阜ユースは1次リーグから参戦していましたが、今年はプレミアリーグやプリンスリーグに所属しているチームによる「PPリーグ」に参戦しています。5チームによるリーグ戦ですが、FC岐阜ユースは既に2試合を終了しており、JFAアカデミーユースに0対3、清水エスパルスユースに0対1と敗戦し、こちらも結果が出ていません。明日5月27日に磐田市のゆめりあサッカー場にてジュビロ磐田ユースと、来週6月3日には同じく磐田市の竜洋スポーツ公園サッカー場にて名古屋グランパスユースとの対戦が予定されています。両チーム共にプレミアリーグに参戦している強豪チームなので厳しい戦いになると思いますが、何とかまずは1勝して勢いを得たい物です！

頑張れよ、応援しているからな！！FORZA！FC岐阜ユース！！

※試合会場・時間は変更される場合があります。必ずJFAやチームの公式サイトで確認して下さい。（シュナ）

## 【セカンド】天皇杯出場ならず

●FC岐阜セカンド（以下『セカンド』）は岐阜県サッカー選手権に臨みました。決勝の相手はNK可児（編集部注：岐阜県サッカー選手権の出場チームは、前年の社会人ブロックの結果に拠ります）。雨ざんざんかでピッチコンディション劣悪の中で行われた試合は、セットプレーからの流れでNK可児に決められ、そのまま0-1で敗れてしまいました。残念。結果は残念なものになりましたが、この日は、あの「ギッフィー」が長良川メドウのスタンドに来てくれて、セカンド・サポと一緒に応援したそうです。以前は、FC岐阜の公式サイトでもセカンドについて取り上げてくれなかったり、ホーム最終戦の後のセレモニーでもセカンドの選手が呼ばれなかったり、と不遇の時代もありました。もう、クラブに感謝です。ありがとうございました。（吉田铸造）